



# 令和2年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年8月5日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務広報部長 (氏名) 重光 誠 TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	31,039	0.6	21	65.8	57	48.9	85	22.2
31年3月期第1四半期	31,240	1.6	62	105.4	112	41.3	110	59.2

(注)包括利益 2年3月期第1四半期 22百万円 ( %) 31年3月期第1四半期 61百万円 ( 58.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	6.24	
31年3月期第1四半期	8.02	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第1四半期	22,671	6,902	30.4
31年3月期	21,802	7,007	32.1

(参考)自己資本 2年3月期第1四半期 6,902百万円 31年3月期 7,007百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
31年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		0.00		6.00	6.00
2年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)31年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	1.8	460	90.9	570	48.5	440	8.2	32.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期1Q	13,774,819 株	31年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	2年3月期1Q	49,927 株	31年3月期	49,899 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期1Q	13,724,900 株	31年3月期1Q	13,724,942 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(表示方法の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産は弱さがみられたものの、各種政策の効果もあって、個人消費や雇用環境は改善が続くなど、緩やかながら回復基調となりました。

当水産流通業界におきましては、国際的な水産物需要の高まりから、仕入価格が上昇するなか、国内での荷動きは伸び悩みが続くなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は310億39百万円（前年同期比2億1百万円減）となりました。利益面では、営業利益は21百万円（前年同期比41百万円減）、経常利益は57百万円（前年同期比55百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85百万円（前年同期比24百万円減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、輸入品価格の高止まり等の影響により厳しい販売環境となり、売上高は309億93百万円（前年同期比2億2百万円減）の減収となりましたが、概ね前年同期並みを確保することができました。一方、利益面では物流費の増加等の影響によりセグメント利益は63百万円（前年同期比44百万円減）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高が61百万円（前年同期比2百万円増）となりましたが、利益面では冷蔵庫設備の改修費用等の影響によりセグメント損失が0百万円（前年同期は1百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて8億69百万円増加し、226億71百万円となりました。これは現金及び預金が2億87百万円減少した一方で、商品及び製品が9億34百万円、受取手形及び売掛金が2億31百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて9億73百万円増加し、157億69百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が9億7百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億4百万円減少し、69億2百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が1億3百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、令和元年5月13日付の「平成31年3月期 決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,657	3,369
受取手形及び売掛金	9,343	9,574
商品及び製品	3,012	3,946
短期貸付金	300	300
未収消費税等	73	132
その他	178	133
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	16,547	17,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	728	714
土地	1,723	1,723
その他(純額)	245	350
有形固定資産合計	2,697	2,788
無形固定資産		
	49	48
投資その他の資産		
投資有価証券	2,346	2,202
長期貸付金	285	316
破産更生債権等	659	654
固定化営業債権	817	814
繰延税金資産	22	22
その他	108	107
貸倒引当金	△1,731	△1,723
投資その他の資産合計	2,508	2,395
固定資産合計	5,255	5,232
資産合計	21,802	22,671

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,519	9,427
短期借入金	1,534	1,534
1年内返済予定の長期借入金	166	166
未払金	466	478
未払法人税等	30	32
賞与引当金	151	42
その他	268	513
流動負債合計	11,135	12,194
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	500	500
繰延税金負債	247	148
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	198	207
退職給付に係る負債	1,576	1,576
その他	385	390
固定負債合計	3,659	3,574
負債合計	14,795	15,769
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	3,059	3,062
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,889	5,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	878	775
繰延ヘッジ損益	4	3
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	17	13
その他の包括利益累計額合計	1,118	1,010
純資産合計	7,007	6,902
負債純資産合計	21,802	22,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	31,240	31,039
売上原価	29,514	29,320
売上総利益	1,726	1,719
販売費及び一般管理費	1,663	1,697
営業利益	62	21
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	31	32
受取賃貸料	36	31
貸倒引当金戻入額	2	3
その他	10	3
営業外収益合計	82	73
営業外費用		
支払利息	5	4
賃貸費用	20	19
為替差損	0	9
その他	6	3
営業外費用合計	32	37
経常利益	112	57
税金等調整前四半期純利益	112	57
法人税、住民税及び事業税	26	25
法人税等調整額	△23	△53
法人税等合計	2	△28
四半期純利益	110	85
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	110	85

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
四半期純利益	110	85
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△103
繰延ヘッジ損益	△8	△1
退職給付に係る調整額	△0	△3
その他の包括利益合計	△48	△108
四半期包括利益	61	△22
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61	△22
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「為替差損」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間では区分掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた6百万円は、「為替差損」0百万円、「その他」6百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	水産物販売事業	冷蔵倉庫等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,195	45	31,240	—	31,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13	13	△13	—
計	31,195	59	31,254	△13	31,240
セグメント利益	107	1	109	△46	62

(注) 1. セグメント利益の調整額△46百万円のうち、△46百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	水産物販売事業	冷蔵倉庫等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,993	46	31,039	—	31,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14	14	△14	—
計	30,993	61	31,054	△14	31,039
セグメント利益又は損失(△)	63	△0	63	△41	21

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△41百万円のうち、△41百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。